みなと SDGs パートナー 登録申請書

<u>2022</u>年<u>11</u>月<u>17</u>日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企	業	•	寸	体	名	たにもと建設株式会社
所		在			地	神奈川県横浜市中区羽衣町 2-7-10
代	表者	行役耳	戢	・氏	名	代表取締役 藤坂 勇
+0	N/Z		' =	4.A	#	電 話:045-264-2911 営業部 石戸大政
担	=	者	選	給	先	メール: eigyou@tanimoto-const.co.jp
ウ	ェブ	サイ	 	U R	L	http://tanimoto-const.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和 38 年に創業した会社であり、横浜・東京の港湾を中心として海上土木、浚渫、埋立工事、海 上石材砂の販売供給を実施している企業である。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓ 環境□社会□経済	自然エネルギーの活用としてハイブリッド、 電気自動車を導入する事で CO2 削減への取組	現状 0 台 目標 5 台 CO2 削減量 30%削減
□環境 □社会 ✓経済	時間外労働の適正、合理化において労働時間を短縮する。	現状(月平均)60時間以下目標(月平均)40時間以下
□環境 ✓社会 □経済	ボランティア活動に積極的に参加し、地域貢献を図る。	現状(清掃活動他)年6回以下目標(清掃活動他)年10回以下

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

	カー		目体的大颚组				主な	SDGs	(17⊐									
	チェック項目		具体的な取組 (公的な取得認証があれば、	1	2	3	4	5	6 7	8	_		11			14 1		
	ij		併せて記載してください。)	tietiet.	<u></u>	3 minus →W◆	4 FORMAN AND AND AND AND AND AND AND AND AND A	5 \$\$\$\$\$\frac{1}{2}\$	Image: Control of the	8 ****	9 second	10 400000	AB4	CO	13 ::::::	15 %%	16 ************************************	17 (11)
	淮 •	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認 している						5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	7	10.2 10.3					16. 16. 16.	.2
2	労動	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	社規(就業規則)の周知徹底と各所属長への相談に乗るよう努めている。					5.1 5.2 5.5		8.8 8.8							16.	1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	元請け、下請け工事の内容により勤務状況が違うので担当 工事引き渡し後極力休暇を取得させている。							8.8 8.8								
4		【外国人労働者】 ·外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4			8.5 8.7 8.8	7	10.2 10.3						
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	安全環境委員長を中心に年間安全環境衛生目標を作成 し、工事着手前検討会、工事安全環境パトロール等を工事 部と協力して実施している。			3				8								
6			本人と家族も含め双方が理解すべき対策を実施し、復帰まで支援を行っている。			3												
7			女性技術者も含め多様な人材確保を発信しているが雇用に 至っていない。現場事務所内環境衛生面として女性用専用 トイレ更衣室等を備えている。					5.1 5.5		8.5	5	10.2 10.3						
8			外部ゼネコン等研修に全額負担にて一か月程度参加させて いる。資格取得費用は一部負担している。				4	5.5		8	9							
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5		8.5	5	10.2 10.3						
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	産業医(内科クリニック)を配置し、健康診断、再検査、メタ ボ管理等積極的に実施して社員の健康管理向上に取り組 んでいる。			3				8								
11	覚	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推 進に取り組んでいる											11.6	12.4 12.5		14.1		
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	ISO業務計画に基づき、室内蛍光灯削減、昼休み消灯、コピー機カラー印刷削減実施している。						7.	3					13			
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	Co2排出量低減型の建設機械を積極的に採用しています。						7. 7.					12.4	13.3			
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3				11.6	12.4				

Γ	カ												EなSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15												
	テ	チェック項目	共体的な取組		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15 1	6	17					
	ゴリ) -) / Q	併せて記載してください。)			3 POTENTE -W-	4 FOR ORD	\$10,00-1786 \$10,001	6 censc	7 Staf-Galetti GLEPP-OC	8 ####	9 100000	10 sector	11 EARDONNES	12 33311	13 MARSHER	14 **** 15	16 7	17	**************************************					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	地元漁業組合との関りの中で、稚魚放流等イベントに参加し 生態系環境保全に努めている。						6.6									15							
16		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	元請け施工内に於いて汚濁防止対策、循環型節水機器設 置を取り組んでいる。						6.4 6.6																
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	S014001を認証取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15							
18		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	地域志向CSR方針HP及びパンフレット等に取り組みを掲載している。												12.6										
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13									
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15							
21		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	S09001、 S014001認証取得により仕組みを構築している。			3.9									12.4										
22	サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	上記と同じ。									9													
23		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6						12	13	14	15							
24		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15 1	16	17					
25	社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	2014年に横浜型地域貢献企業の最上位認定を取得し災害ボランティア活動も含め行っている。				4					9		11	12		14	15		17					
26		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	定期的に山下公園清掃活動に積極的に参加している。カレンダーを福祉施設に寄付している。				4							11			14	15		17					
27	貢献	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している									8	9		11	12	13									

カーテー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									7ゴ-	ール。	<u>- 169</u>	ター	ゲッ	<u> </u>	関連:	項目			
	テ	チェック項目	サエック項目 具体的な取組 (公的な取得認証があれば、		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14 15	16	17
	ゴリ	, _ , , <u> </u>	併せて記載してください。)			3 TOTALE	4 FORMANT	5 SECURITION (SECURITION)	6 manager	7 stand-name:	8 ####	9 ##210000	10 AMBANEN	11 SABORAS	12 ::::	13 PARTIC PARTICIPATE	14 ##### 15 ############################	16 FECTOR	17 ************************************
28	体	【内部管理体制】 ·SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	経営者自らSDGs目標達成に向け取り組みを発信している。								8	9							17
29		【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	就業規則に明記し併せて教育も行っている。															16	
30		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	各部署の所属長が責任を明確化していて経営者とのトップダウンが出来ている。															16	
31		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)																16	17
32		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																16	
33		【社会的責任】 ·CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす 影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																16	
34		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している										9		11		13.1		16	
35		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16 17	7
(将来の担い手) 今後将来に向けての担い手確保を実施している。	地元学生獲得を主としたリクルート活動をおこないインターン シップ及び有給インターン制度などを実施している。								8	9. 2								
脱炭素社会に向けた取り組み	エコカーの導入							7						13		15		

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地: 横浜市中区羽衣町2-7-10

名 称: たにもと建設株式会社

代表 者: 代表取締役 藤坂 勇

登録年月日: 令和4年12月23日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓ 環境□社会□経済	自然エネルギーの活用としてハイブリット、電気自動車を導入する事で CO2 削減への取組	現状 0 台 目標 5 台 CO2 削減量 30%削減	現状 0 台
□環境 □社会 ✔経済	時間外労働の適正、合理化において労働時間を短縮する	現状(月平均) 60 時間以下 目標(月平均) 40 時間以下	現状(月平均)55時間以下
□環境 ✓ 社会 □経済	ボランティア活動に積極的に参加 し、地域貢献を図る	現状(清掃活動他) 年 6 回以下 目標(清掃活動他) 年 10 回	現状 5 回